

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の目標値	R元年度の実績値
弥生文化博物館入館者数	人	57,000	38,310

未達成の要因と分析	2回の特別展が北陸と山陰の弥生時代をテーマとしたものであり、学術的には優れた展示企画であるとはいえ、一般の方々には十分に訴求することができず、H30年度比では約10,000人の入館者減となった。また、新型コロナウイルス感染症蔓延による臨時休館によって約5,700人の入館者減の影響を受けた。
------------------	---

今後の改善方策	弥生文化をテーマとした学術的なレベルの高い展示企画は維持しつつも、一般の方にも興味を持ってもらえるよう、「とんぼ玉」や「鉄道」などの親しみやすいテーマの展示企画を展開し、新たな来館者を開拓する。
----------------	---

〔2〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の目標値	R元年度の実績値
近つ飛鳥博物館入館者数	人	97,600	79,265

未達成の要因と分析	通常、秋季に行っている特別展を百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録のタイミングに合わせて夏季としたが、9月の記録的猛暑の影響もあってか、約7,000人の入館者減となった。また、新型コロナウイルス感染症蔓延による臨時休館によって約11,000人の入館者減となった。
------------------	--

今後の改善方策	百舌鳥古墳群には堺市博物館があるが、古市古墳群を擁する藤井寺・羽曳野両市は博物館施設を持たない。古市古墳群に関する館蔵資料等も有効に活用して展示を行い、地元自治体とも連携して、古市古墳群に近い古墳時代の博物館としてより一層のPRに努める。
----------------	---

■ 目標値未達成の要因について

〔3〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
日本民家集落博物館入館者数	人	39,000	30,453

未達成の要因と分析	資金や人員の不足によって目新しい企画を十分に打ち出せず、来館者が漸減している。また、新型コロナウイルス感染症蔓延によって、貸部屋や一部展示施設を閉鎖したことにより、入館者が減じたほか、小学校の遠足などの取りやめ、人が集まる館内イベントを中止したことも影響している。
------------------	--

今後の改善方策	野外博物館であること、通気性のよい日本家屋であることなど、3密回避が可能な博物館として、SNSなどを有効に活用して国内外にPRし、新たな来館者層の取り込みを目指す。
----------------	--

〔4〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
館外事業の参加者数	人	53,900	45,993

未達成の要因と分析	新型コロナウイルス感染症の影響で、出張講演会の中止により約150人が減少、大阪府立狭山池博物館ならびに泉大津市立弥生学習館で行っていた連携展示が新型コロナウイルス感染症等の関係で期間短縮を余儀なくされたことによって、約9,600人減少したことが影響した。
------------------	---

今後の改善方策	府内のみならず、他地域の博物館との連携の可能性についても常に模索し、連携事業の幅を広げ、全国的な知名度アップにもつなげる。
----------------	---

■ 目標値未達成の要因について

〔5〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
利用者一人あたり経費	円	1,170	1,490

未達成の要因と分析	新型コロナウイルス感染症の影響等による各館の入館者減ならびに館外利用者数の大幅減が一人あたりの経費を押し上げている。
------------------	--

今後の改善方策	SNS等を効果的に活用して、各博物館の個性や魅力を随時発信するなど、効率的な広報を行う。 また、大阪府にとどまらず、エリアを広げて新たな連携出張展示などを計画的に実施する。
----------------	---

〔6〕

R元年度の 成果測定指標	単位	R元年度の 目標値	R元年度の 実績値〔見込値〕
賛助金・寄附金	円	1,900,000	1,298,521

未達成の要因と分析	企業のメセナに対する意欲の低下がみられるなか、企業の賛助会員は撤退・減額等はなく維持できたものの、明確な用途を明示できなかったことから、個人レベルでの寄附金が低迷した。
------------------	--

今後の改善方策	現状の賛助金制度を堅持しつつも、令和2年度から実施する国指定重要文化財「信濃秋山の民家」の大規模補修工事に際しては、用途を明確にするとともに、マスコミ等のメディアも活用して広く周知する形でクラウドファンディングの導入も検討し、少額でも母数を広げることにより、より多くの方々から支援を得られる方策を進める。
----------------	--